

7歳の交通事故

過去5年間の7歳の死傷者数
最も多い約500人！

令和元年から5年までの都内における交通事故死傷者数を見ると、7歳、次いで8歳の児童が他年齢よりも飛び抜けて多くなっています。

歩行中の子どもの主な事故原因の半数が●飛び出し、●横断歩道外横断などの横断違反、●信号無視などとなっています。

これは、小学校に通学し始め、活動範囲が急に広がることも一つの要因と考えられます。また、女の子に比べ、男の子の事故件数が1.5倍多く発生しています。

学校では交通安全教室を行っていますが、基本的な交通ルールを普段の生活の中で繰り返し伝えることが重要です。



保護者の皆さんへ

お子さんと一緒に、自宅付近や通学路などを確認しましょう

大人には発見できる危険が、子どもには見えていないことがあります。

子どもと同じ目の高さで安全を確かめ、見通しの悪い場所や、通行量が多く危険な場所では、どのように安全を確かめたらいいのか、具体的に教えましょう。

基本的な交通ルールを普段の生活の中で繰り返し伝えましょう

道路に飛び出さないこと、信号を守ること、横断歩道を渡ること、道路で遊ばないことなど、必ず守らせてください。



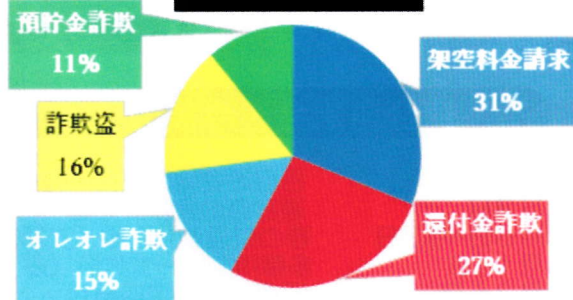
～お手本となる交通行動に心がけ、お子さんの交通安全意識を育てましょう～

防犯部ニュース

郷地東町連合自治会
防犯部長 鷹取正次

詐欺の手口、犯人名乗り別、アポ電多発地区グラフ

被害手口別



電話の中で

「未納料金」「医療費」「カバン、携帯をなくした」

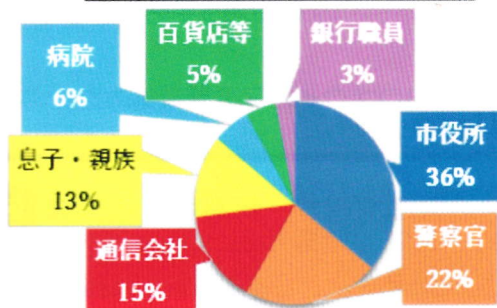
が出たら詐欺！

自宅の電話は常に留守番電話
知らない番号・国際電話には要注意！



特殊詐欺

詐欺犯人 名乗り別



アポ電多発地区別

